

中国地域ニュービジネス特別賞

表彰事業

ファイバーシート天井システムの開発

有限会社ファインアートかわばた

代表取締役 うし がき 牛垣 かず ひろ 和弘



事業内容

東日本大震災では天井の落下が相次ぎ、また平時でも頻発している天井崩落の対策が重要視されていることなどから、膜天井システムを開発した。このシステムの特徴は、地域内企業と共同開発した特殊なテンション金具を4壁面に取付け、部屋の大きさ通りに予め作られた強化ファイバーシートをその金具に引っ掛け、張力を加えてパネルの様な太鼓張り天井を施工する仕組みである。照明や空調機器などの取り付けやメンテナンスに必要な開口も柔軟に対応できる。施工は壁面のみなので、足場を最小限にすることが可能であることなどから、コスト削減が可能となる。また、隙間のない膜天井なので、建物の空調効率も改善され省エネ効果も期待できる。2018年2月、国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」にも登録された、究極の安全天井システムである。

【推薦団体】つやま産業支援センター

受賞理由

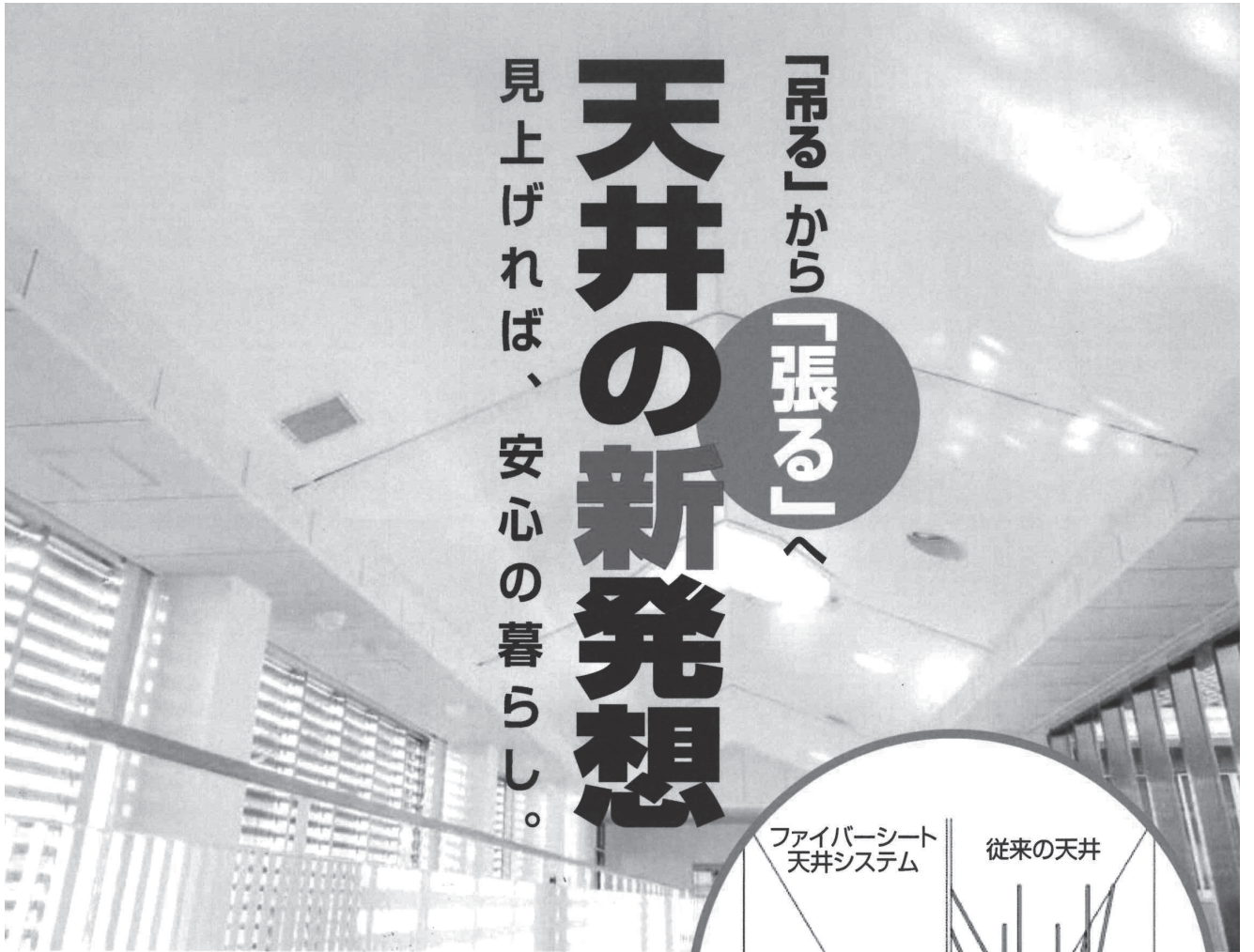
- ファイバーシート天井システムは、既存の吊り天井や耐震天井と違い、吊材や梁材を一切使用しないことから、万が一の場合でも柔らかなシートが落ちて来るだけで、天井下にいる人や物の被害を最小化できる。
- 必要最低限の足場でパネルのような太鼓張り天井をつくる事ができる。膜材に対する専門性の低い作業員でも簡単に施工できることから、大幅なコスト削減を可能としている。
- ファイバーシート天井システムの普及を目的とした(一社)ファイバーシート天井システム協会を設立し、既に多目的ホールや工場などで施工実績を積んでいる。

会社概要

1981年に先代が2人で創業したのが弊社の始まりで、いわゆる“テント”を扱う会社であった。創業以来、人と人との繋がりを大切に、お客様の思いを形にすることにこだわり続けた結果、テントという枠を超えて「膜」という素材を活かし、街を「彩り・飾る」、人やモノを「守る」そういった仕事を行っている。事業内容は以下の通り。

- ・ 店舗・看板用デザインテント ・ テント倉庫 ・ 開閉式テント・オーニング ・ 日陰用テント
 - ・ 軽量、曲面、光の演出を使った建築物外壁 ・ シート式防災垂壁 ・ 間仕切り ・ 帆布製かばん ・ 光膜天井
 - ・ 膜天井 ・ 牛舎・鶏舎のロングスパン巻上シート ・ シートシャッター ・ イベントや式典 ・ 緞帳 ・ 内装工事
- 今後の目指す事業展開・方向性については、「膜」という大きな可能性のある素材で、生活を、重いものから軽く明るいものへ。そして、安全で安心できるものに、生活の中に安らぎを提供すること。まずは、従来の吊る天井から、広いスパンを張ることで作り出せる天井という考え方があることを広く知ってもらえるように、さらにデザインと照明の組み合わせで新たな空間造りを提案していきたい。

会社所在地	〒708-1213 岡山県津山市下野田387-1		
T E L	0868-29-3677	U R L	http://maklife.co.jp/
会社設立	1978年9月	従業員数	12名
資本金	5百万円	売上高	228百万円(2018年7月期)

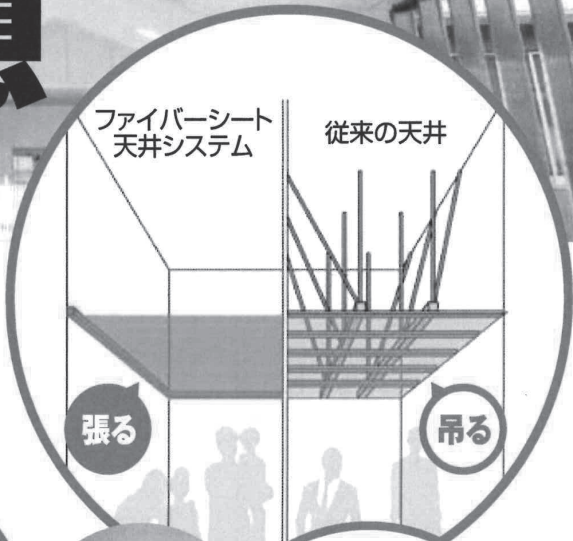


「吊る」から「張る」へ

天井の新発想

見上げれば、安心の暮らし。

ファイバーシート天井システム

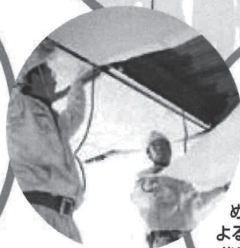


国土交通省 膜天井業界初
NETIS登録
(新技術活用システム)
登録番号:CB-170032-A

トータルコストの削減に
工期の大幅短縮

シート1枚
最大300㎡の
設置が可能
梁材なしの最大天井面積300㎡(20m×15m)を1ブロックとし、大面積に対応できます。

施工は既存設備・工作機械を移さずに行うことができます。また足場を最小限にすることが可能なのでコストの削減はもちろんです。短期間で施工可能です。通常2〜3週間の施工期間をファイバーシート天井システムなら5日程度で完了。稼働休止期間を最小化できます。



耐震対策用天井で
事業継続性
(BCP)対策

落下やケガをしにくいシート型のため、震災後の瓦礫の撤去も、落下物による機材の破損も低減されます。施工後に緊張が緩むことなく、シート張替時には事業を継続しながら復旧可能です。

製造元：(有)ファインアートかわばた <http://maklife.co.jp/>



岡山県 新商品による
新事業分野開拓事業者認定制度
認定商品

膜天井として国内唯一
国土交通省より新技術として認定
NETIS
(新技術活用システム) CB-170032-A



災害時に必要とされ
安全安心と認められる
防災製品等推奨品認定